

荒川地域内商工会景況調査報告書

1. 調査要領

(1) 調査対象

ア 対象地区 荒川商工会地区内小規模事業者
イ 調査企業数 40 事業所 (うち小規模事業者数 40 事業所)
ウ 回答企業数 40 事業所 (うち小規模事業者数 40 事業所)
(回答率 100.0%)

(2) 調査対象期間

令和4年10月～令和5年3月
(調査時点 令和5年2月1日)

(3) 調査方法

経営指導員等による巡回または窓口によるヒアリング調査

(4) 調査対象と回答企業の構成

	調査対象		有効回答	
	企業数	構成比	企業数	構成比
製造業	1	2.5%	1	2.5%
建設業	9	22.5%	9	22.5%
卸・小売業	11	27.5%	11	27.5%
サービス業	19	47.5%	19	47.5%
合計	40	100.0%	40	100.0%

2. 地域内産業全体の景況概要

長引く新型コロナウイルスの影響が払拭されない中、8月の豪雨災害により地域内小規模事業者は大きな被害を受け、事業再建に注力せざるを得なかった事業者が多かった。更に物価高騰により状況が続く景況は全体的には悪化しており業種に関わらず多くの企業が「仕入単価の上昇」を経営課題として挙げており、価格転嫁対応が急務である。

【代表者の年齢と後継者の状況】

回答先企業の代表者の年齢は40～50代が約半数を占めている。後継者の有無については、なしが7割以上という結果となった。

代表者の年齢

20～30代	40～50代	60～70代	80代以上
12事業所	20事業所	1事業所	3事業所

後継者の状況

後継者あり	後継者なし
9事業所	31事業所

【売上高】

売上高については前年同期比、前期比、今後の見通しについて「増加」から「減少」を引いた状況が、前年同期比で▲35%、前期比で▲20%と多少ながら回復傾向が見られるが、今後の見通しでは▲20%となっており、先行きの不透明感は長引くと思われる。

前年同期比

増加	不変	減少
8	10	22

前期比

増加	不変	減少
10	12	18

今後の見通し

増加	不変	減少
8	16	16

【採算】

採算性については前年同期比、前期比、今後の見通しについて「好転」から「悪化」を引いた状況が、前年同期比で、▲45%、前期比で▲42.5%とより悪化しており、今後の見通しでは▲40%となっており、今後も厳しい状況が続くと考えている事業者が多い。

前年同期比

好転	不変	悪化
2	18	20

前期比

好転	不変	悪化
3	17	20

今後の見通し

好転	不変	悪化
2	20	18

【仕入単価】

仕入単価については前年同期比、前期比、今後の見通しについて「上昇」から「低下」を引いた状況が、前年同期比、65%、前期比で67.5%となっている。今後の見通しも57.5%となっており、仕入単価の上昇が顕著に現れる結果となった。

前年同期比

上昇	不変	低下
27	12	1

前期比

上昇	不変	低下
28	11	1

今後の見通し

上昇	不変	低下
25	13	2

【販売（客）単価】

販売（客）単価については前年同期比、前期比、今後の見通しについて「上昇」から「低下」を引いた状況が、前年同期比、前期比では0%～▲2.5%と横ばいで推移しているが、今後の見通しは▲10%となっており、物価高騰により販売単価も低下するとの見方がある。

前年同期比

上昇	不変	低下
5	30	5

前期比

上昇	不変	低下
5	29	6

今後の見通し

上昇	不変	低下
3	30	7

【資金繰り】

資金繰りについては前年同期比、前期比、今後の見通しについて「好転」から「悪化」を引いた状況が、前年同期比で▲40%、前期比▲32.5%であり、今後の見通しも▲37.5%となっており、新型コロナウイルスや豪雨災害の影響もあり厳しい状況となっている。

前年同期比

好転	不変	悪化
0	24	16

前期比

好転	不変	悪化
0	27	13

今後の見通し

好転	不変	悪化
0	25	15

【雇用動向】

雇用動向については前年同期比、前期比、今後の見通しについて「増加」から「減少」を引いた状況が、前年同期比、前期比で▲10%、今後の見通しで▲7.5%とマイナスの結果となったが、「不変」とする回答が全期間において8割を超えており、特に変化なしとする回答が最も多くなっている。

前年同期比

増加	不変	減少
3	33	4

前期比

増加	不変	減少
2	35	3

今後の見通し

増加	不変	減少
1	35	4

【景況判断】

景況判断については前年同期比、前期比、今後の見通しについて「好転」から「悪化」を引いた状況が、前年同期比で▲47.5%であるが、前期比で▲30%、今後の見通しでは▲52.5%という結果となった。今後も厳しい状況が続くとされる。

前年同期比

好転	不変	悪化
2	17	21

前期比

好転	不変	悪化
5	18	17

今後の見通し

好転	不変	悪化
3	13	24

【経営上の問題点】

「仕入単価の上昇」が25件と最も多く、物価の上昇による経営への影響が色濃く出ている。以下「販売価格の転嫁」が15件（37.5%）、「店舗・設備等の老朽化」が14件（35%）、「税負担の増加」が10件（25%）と続く結果となった。